

水田におけるナガエツルノゲイトウ対策を考慮した 防除体系

福島県農業総合センター 浜地域研究所

部門名 水稲-水稲-雑草防除

担当者 吉川 学、浅井 元朗（農研機構）、木田 義信、齋藤 隆、佐久間 祐樹、南 隼人

I 新技術の解説

1 要旨

これまで特定外来生物ナガエツルノゲイトウに対し、関東以西ではピラクロニル（以下、PYR という）含有剤とフロルピラウキシフェンベンジル（以下、FPB という）含有剤を組み合わせた防除体系が確立されているが、東北地域での適用性は確認されていない。そこで、本県における同体系の有効性ととも、フェンキノトリオン（以下、FQT という）含有剤を用いた体系の効果を検証した結果、PYR+FPB 体系に加え、FQT+FPB 体系でも高い防除効果が示された。

- (1) 関東以西の標準体系である PYR 含有剤（商品名：アットウ Z400FG）と FPB 含有剤（商品名：ウィードコアジャンボ SD）の体系（以下、体系①）は、ナガエツルノゲイトウの再生を抑制したことから、本県の気象条件下でも適用可能である（表 1、図 2）。
- (2) FQT 含有剤（商品名：アカツキ豆つぶ 250、プライオリティ豆つぶ 250）を用いた体系（後処理は FPB 含有剤（商品名：ロイヤント乳剤））（体系②、③）も体系①と同等の高い防除効果が確認された（表 1、図 2）。
- (3) 防除体系の除草剤費は、10a 当たり 6,990～8,270 円であった。また、体系①は畦畔散布可能であり、高い省力性が期待できる（表 2）。

2 期待される効果

- (1) 水田における効果的なナガエツルノゲイトウ防除が可能となる。
- (2) 使用可能な除草剤の選択肢が広がる。
- (3) 除草剤コストや省力性などから実用性は高く、生産者の負担軽減につながる。

3 適用範囲

- (1) ナガエツルノゲイトウ発生地域の生産者、JA 営農指導員、普及指導員

4 普及上の留意点

- (1) PYR または FQT 含有剤と FPB 含有剤を組み合わせた体系防除を行うこと。

II 具体的データ等

除草剤処理日 (月/旬)	4月	5月	6月	7月
水稲作業		移植 (4/下)		中干し開始 (7/中)
体系①		▲ PYR含有剤 (商品名:アットウZ400FG) (4/下)	▲ FPB含有剤(1) (商品名:ウィードコアジャンボSD) (6/上)	
体系②		▲ FQT含有剤(1) (商品名:アカツキ豆つぶ250) (4/下)	▲ FPB含有剤(2) (商品名:ロイヤント乳剤) (6/下)	
体系③		▲ FQT含有剤(2) (商品名:プライオリティ豆つぶ250) (4/下)	▲ FPB含有剤(2) (商品名:ロイヤント乳剤) (6/下)	

図1 各防除体系における薬剤処理スケジュール

表1 各体系における除草効果(残草生体重及び防除値)

試験区	調査草種	無処理区 (g/m ²)	処理区 (g/m ²)	防除値 (%)
体系①	ナガエツルノゲイトウ	133	0	100
	イヌホタルイ	455	25	95
	ノビエ	924	0	100
	コナギ	1284	0	100
体系②	ナガエツルノゲイトウ	958	0	100
	イヌホタルイ	572	32	94
	ノビエ	616	0	100
	コナギ	103	0	100
体系③	ナガエツルノゲイトウ	689	0	100
	イヌホタルイ	922	84	91
	ノビエ	788	57	93
	コナギ	82	0	100

注) 防除値(%) = (1 - 処理区残草生体重 / 無処理区残草生体重) × 100

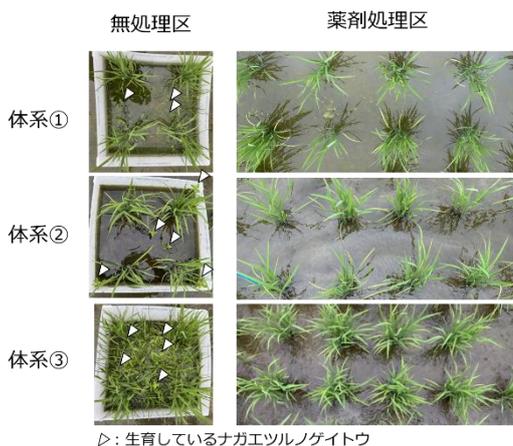


図2 各試験区における水稲の生育とナガエツルノゲイトウを含む雑草の発生状況(7月18日)

表2 ナガエツルノゲイトウ防除体系における除草方法と除草剤費

防除体系	除草剤名	使用量(希釈水量) (/10a)	散布方法	必要な散布器具		除草剤費(円/10a)	
				小区画圃場 (30a未満)	大区画圃場 (30a以上)	除草剤費	合計
体系①	PYR含有剤(商品名:アットウZ400FG)	400g	畦畔から散布	なし	なし	3,900	8,270
	FPB含有剤(1)(商品名:ウィードコアジャンボSD)	200g	畦畔から投げ入れ	なし	なし	4,370	
体系②	FQT含有剤(1)(商品名:アカツキ豆つぶ250)	250g	畦畔から散布	なし	なし	3,990	7,390
	FPB含有剤(2)(商品名:ロイヤント乳剤)	200mL(25~100L)	ほ場全面に散布	背負い式動噴	ブームスプレーヤー	3,400	
体系③	FQT含有剤(2)(商品名:プライオリティ豆つぶ250)	250g	畦畔から散布	なし	なし	3,590	6,990
	FPB含有剤(2)(商品名:ロイヤント乳剤)	200mL(25~100L)	ほ場全面に散布	背負い式動噴	ブームスプレーヤー	3,400	

III その他

1 執筆者

吉川 学

2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和7年度

(2) 研究課題名 浜通りにおける大規模水田利用支援技術の開発

3 主な参考文献・資料

(1) 農研機構 (2025) 水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル.

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/168972.html